
眠れない雨の夜。

果穂

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

眠れない雨の夜。

【Nコード】

N7455A

【作者名】

果穂

【あらすじ】

前作と似てるかもデス。あの人と別れた夜もこんな日だった的な話。女々しいなあ・・・（笑）

今、この雨の下に、
由香はいるだろうか考える。

窓の外の暗闇は、朝から降り続く雨の音が聴こえるくらい静かだ。
ふわりとカーテンを揺らす夜風が頬に心地よい。

深夜特有のハイテンションなお笑い番組の賑やかさに、
今日は何故か苛立ちを覚えてリモコンを探した。
ソファの上のクッションの陰、
テーブルの端、

先程まで寝転がっていた床のどこか。

探しても見つからないものに、更に苛立ちが募る。

こんなときに追いつちをかける気か？

胸の内のモヤモヤを吐き出すようにガンツと近くにあつた本棚を蹴
れば、

それに伴ってバサバサと落ちてくる古く大きいカバー達。

大した量は落ちなかったが、それでもそれは今の俺の心臓を押しつ
ぶすのに十分だった。

落ちた本を拾い上げて元に戻るのに鼻の奥がツンとした。

ここは由香の本棚だ。

本当は俺が買ったものだったのに、由香が来る度来る度、料理の
本からお堅い小説まで持って来ては置いていくせいで、俺の本の居
場所はなくなってしまうたんだよなと、由香のこだわった順番に本
を元に戻すうち、熱くなる目頭を抑えるように考えた。

どうしてこいつらを置いてったんだろう。

お気に入りだとか何だとか言ってたクセに。

全て戻し終えた俺は、けれど、もう今テレビを消して静寂に実を投げ出せるとはとも思えなくて。

仕方なく割りと静かな環境番組に本体からチャンネルを変えた。

ふいに風が強くなる。

雨の匂いが、部屋を満たしていつて・・・。

ああ、ヤバイ。

何か、ヤバイぞ・・・。

思っても既に遅く・・・。

俺は天井を見上げてそれをやり過ごそうとする。

しかし間に合わず零れたそれに、情けなさが募った。

お前の彼女、この前他の男と歩いてたらしいケド・・・

いつのまにか俺の家に普通にいるようになって、俺の殺風景な部屋に、由香が色をつけていつて。

俺はそれをなんだかこそばゆい気持ちで傍観していた。

部屋の隅にあった由香のお風呂セットはもう無い。

白いシーツの甘いシャンプーの香りももう無い。

オムライスだけは得意だと言ってそればかりを作っては、よく俺が他にはないのかと呆れ、いつの間にか本棚にあった料理本。

・・・どうして疑えたんだろう。

あんなに誠実だった人を傷つけてしまった。

2人の毎日が、誰かの噂ひとつで壊れてしまったことに、由香はどれ程傷ついたろう。

ひどい言葉で責めた俺に、泣きもせずにわかったと、消えそうな声で呟いて。

何をわかったと言ったんだろう。

どうしてあんな弱かった俺に、何も言わなかったんだろう。

考え出すと止まらない、溢れる後悔に、せき止められなくなった感情が決壊するように、一気に胸に溢れた愛しさと切なさ。

あれからもう何ヶ月とたっているのに。

“普通”の生活を、取り戻しているハズなのに。

こんなふうに眠れない雨の夜には、忘れかけてた由香の笑顔が蘇る。

どうか由香はそうでなければいいと思う。

雲のない星空の下で、あの笑顔を浮かべているといいと思う。

女々しい程お前が好きだった、臆病な俺のことなんか忘れて

たとえ同じ街にいたとして、

同じ空の下にいたとしても、

こんなたくさんの人の中じゃあきつと会えないから。

こんな日にだけ思い出すけど、

それだけは許してほしい。

もう二度とは会わないから。

こんな日にだけは、

本気で愛してたど、言わせて欲しい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7455a/>

眠れない雨の夜。

2010年11月12日11時24分発行